

2010年6月15日
株式会社日立製作所

高性能・高信頼ハイエンドモデル 産業用コンピュータ「HF-W7500 モデル 30」を販売開始



「HF-W7500 モデル 30」

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、このたび、産業用コンピュータ「HF-W7500 シリーズ」において、ハイエンドモデル「HF-W7500 モデル 30」をラインアップに加え、本日から販売を開始します。本モデルは、クアッドコア インテル® Xeon® プロセッサ E5504 (2GHz)を搭載するとともに、64ビット OS の採用により、最大 16GB のメモリを搭載可能です。これにより、当社従来機(HF-W7500 モデル 20/以下、従来機)と比べ、約 1.8 倍となる大幅な処理性能の向上を図り、半導体製造装置などの画像処理用途で求められる大容量のデータに対しても高速処理を可能としました。

また、日立の産業用コンピュータとして初めて、瞬時停電の際にも稼働を継続する UPS^(*)機能付き電源を搭載し、信頼性、可用性の向上も図りました。さらに、大容量データを高速で高信頼に処理するのに適した SAS^(**)ハードディスクを採用し、情報システムの障害発生時の原因を分析するために操作状況のデータを記憶するデータロガー用途などにも活用することが可能です。

*1 UPS(Uninterruptible Power Supply): 無停電電源装置。入力電源に停電などの異常が発生しても一定時間は停電することなく電力を供給し続ける。

*2 SAS(Serial Attached SCSI): コンピュータにハードディスク等のデバイスを接続するためのインターフェース。シリアル転送方式を採用して高速転送を可能とする。

産業用コンピュータは、24時間連続運転と約10年の長期使用および長期安定供給が要求されるシステムです。現在、半導体・液晶などの装置組み込み、電力、交通、水処理、消防・防災といった社会インフラシステムや、情報通信、放送などの情報システムの多岐にわたる分野で画像処理、監視・制御、データロガー用途などで利用されています。このような分野では、長期使用、長期安定供給に加えて、大量なデータの高速処理を行う高い性能が求められています。

今回、日立は、それらのニーズに応じた性能を有する本モデルの販売を開始します。

■新製品の特徴

1.従来機比で約 1.8 倍の処理性能の向上を実現

(1) 高性能 CPU の採用

クアッドコア インテル® Xeon® プロセッサー E5504(2GHz)を採用することで、性能の向上を実現します。

(2) 64 ビット OS の採用

64ビットOSを搭載することで、最大 16GB のメモリを搭載可能です。これにより、例えば、大量のデータ計算を必要とする半導体製造装置などの画像処理用途で求められる高速処理を可能にしています。

(3) SAS ハードディスクの採用

従来の SATA^(*3)ハードディスク採用モデルに加え、今回、大容量データをより高速、高信頼に処理する SAS ハードディスクを採用するモデルを追加しました。これにより、データベースへのアクセスのように頻度の高い処理や、情報システムの障害発生時の原因分析のための操作内容の記録を行うデータロガー用途などにも活用することが可能です。

*3 SATA(Serial ATA): 記憶装置を接続する規格の一つ。シリアル転送方式を採用。

2.システムの信頼性、可用性向上

(1) UPS 機能付き電源の採用

UPS 機能付き電源を採用することにより、UPS を別途用意する必要がなく、瞬時停電の際にも本モデルを継続稼働することができ、急なシステムダウンを予防します。

(2) ホットスペア機能の搭載(F モデルのみ)

ハードディスクドライブの障害時にも、RAID 構成を自動で再構築するホットスペア機能を搭載します。

3. Windows Server® 2008、Windows® 7 をサポート

64 ビット OS である Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard Edition(64bit)、Microsoft® Windows® 7 Professional(64bit)をサポートします。また、移行性を考慮して従来機でサポートしていた Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition(32bit)、Microsoft® Windows® XP Professional(32bit)もサポートします。

4.安定的な長期連続稼働を前提とした設計、品質管理

長期連続稼働をより安定的なものにするため、24 時間連続運転と約 10 年間の長期使用を想定した信頼性設計を行うとともに、コネクタやコンデンサーといった部品レベルまでの検査を行うことで、信頼性を高めています。さらに、すべての製品を対象とした出荷時の温度マージン試験^(*4)を実施する品質管理を行っています。

*4 温度マージン試験: 仕様最大の温度と仕様最小の温度において正常に動作するか否かを確認する試験。

5.高い拡張性を確保

PCI-Express×16 (1 スロット)、PCI-Express×8(2 スロット)^(*5)、PCI-Express×1(2 スロット)をサポートします。また、OS のサポート同様、移行性を考慮して従来機でサポートしていた PCI ロングサイズ(3スロット)もサポートします。これらの豊富なスロット(最大 8スロット)により、柔軟なシステム拡張を可能にしています。

*5 「F モデル」では、RAID ボードが PCI-Express×8 を1スロット占有するため、ユーザーは1スロットのみ使用できます。

6.海外安全規格に対応

UL/CSA/CE マーク^(*6)などの海外安全規格に準拠するとともに、RoHS 指令^(*7)にも対応しています。これらにより、ユーザーが海外拠点で使用する場合にも、安心、安全に使うことができます。

*6 UL/CSA/CE マーク: 海外の安全に関する規格 (UL(米国)、CSA(カナダ)、CE マーク(欧州連合))。

*7 RoHS(Restriction of Hazardous Substances) 指令: 電気機器などにおける特定有害物質の使用制限に関する欧州連合による指令。2006 年 7 月に施行された。

■新製品の価格と出荷時期

モデル	OS	価格	出荷時期
A モデル (SATA)	Windows [®] 7 Professional(64bit)	オープン価格	2011 年 3 月 31 日
	Windows [®] XP Professional(32bit)		2010 年 9 月 30 日
D モデル (SATA)	Windows Server [®] 2008 R2 Standard Edition(64bit)		2011 年 1 月 5 日
	Windows [®] 7 Professional(64bit)		2011 年 3 月 31 日
	Windows Server [®] 2003 R2 Standard Edition(32bit)		2010 年 7 月 30 日
F モデル (SAS)	Windows [®] XP Professional(32bit)		2010 年 8 月 31 日
	Windows Server [®] 2008 R2 Standard Edition(64bit)		2011 年 1 月 5 日
	Windows Server [®] 2003 R2 Standard Edition(32bit)		2010 年 10 月 29 日

■「HF-W シリーズ」について

<http://www.hitachi.co.jp/hfw/>

■他社商標注記

- ・Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・インテル、インテル Xeon は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報制御システム社

制御システム統括本部 情報制御機器マーケティング部[担当: 太田]

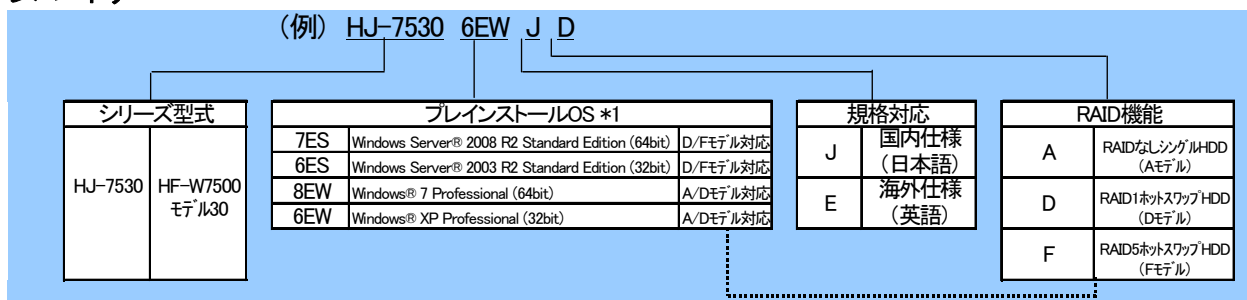
〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号(秋葉原ダイビル 16F)

TEL : 03-4564-3610 (直通)

以上

添付資料 <HF-W7500 モデル 30 の仕様>

◆レパートリー



◆共通仕様

プロセッサ	クアッドコア インテル®Xeon®プロセッサ E5504(2GHz)	
メインメモリ(ECC機能付き)	オプション選定(メモリスロット数×4、最大16GB)*2	
表示解像度・表示色	最大解像度1,280×1,024(約1,670万色) VRAM 8MB	
ファイル装置	DVD	DVD-RAMドライブ(CD-ROM、DVD-ROM、DVD-RAM)
拡張バス	PCI	PCIロングサイズ×3 (汎用5型ベイ実装時:PCIロングサイズ×2、PCIショートサイズ×1)*3
標準入出力 インタフェース	ディスプレイ	RGBHV(Mini D-sub 15ピン)*4
	キーボード	PS/2
	マウス	PS/2
	シリアルポート	1ポート(RS-232C、D-sub9ピン)(オプションで1ポート増設可)
	USBポート	6ポート(前面2ポート、背面4ポートUSB2.0/1.1)
	LANポート	2ポート(1000Base-T/100Base-TX/10Base-T自動切り替え) (RJ45、Wake on LAN™ 対応)
	オーディオ	ライン出力×1、ライン入力×1 *5
RAS機能	100Base-TX/10Base-T 自動切換え(リモートオペレーション専用)*4 ファン停止、温度異常、ウォッチドッグタイマ、電源断、CPUストップ、 リモートパワーオン/リセット/シャットダウン、SMART、状態表示デジタルLED、 簡易ハードウェア自己診断機能、異常検出時のアーム表示機能、 内部温度トレンドログ機能、HDD交換周期の監視、 RAS外部接続点インタフェース(D-sub25ピン)(オプション)	
外形寸法(W×D×H)	420×450×176mm(ゴム足、19型ラック取付金具は含まず)	
定格消費電力	490VA	
電源	電圧	AC100-240V±10%
	周波数	50/60Hz±3Hz
EM	Jタイプ:VCCI classA Eタイプ:FCC classA、EN55011 classA	
安全規格	Eタイプ:UL/CSA/CE	
標準付属品	キーボード、マウス、電源ケーブル、リカバリDVD*6	

◆モデル別仕様

モデル名	ディスク	拡張バス
		PCI-Express
Aモデル (RAIDなしシングルHDD)	SATA(500GB/台) 1~3台搭載(約500GB~1.5TB)	PCI-E×16ショートサイズ*×1 PCI-E×8ショートサイズ*×2 PCI-E×1ショートサイズ*×2
Dモデル (RAID1ホットスワップHDD)	SATA(500GB/台) 2~3台搭載(約500GBミラー)	
Fモデル (RAID5ホットスワップHDD)	SAS(300GB/台) 3~6台搭載(約600GB~1.5TB)	PCI-E×16ショートサイズ*×1 PCI-E×8ショートサイズ*×1 PCI-E×1ショートサイズ*×2

- *1 OS は Embedded ライセンス版です。
- *2 本製品で採用している Windows Server® 2003 R2 Standard Edition 及び Windows® XP Professional の場合、最大搭載メモリは、4GB までとなります。また同 OS で、メインメモリー4GB(2GB×2)を実装した場合、使用可能なメモリ領域は最大で約 3GB となります。
- *3 汎用 5 型ベイに市販のデバイスを取り付ける場合は、VCCI、FCC、CE 規格対象外となります。詳細についてはお問い合わせください。
- *4 オプションのビデオボード実装時は使用不可となります。
- *5 Windows Server® 2003 R2 Standard Edition 及び Windows Server® 2008 R2 Standard Edition プレインストールモデルでは、使用不可となります。
- *6 本体添付のリカバリ DVD を用いて再セットアップを行った場合、C ドライブのサイズを任意に設定することができます。C ドライブサイズを除いて、ハードディスクは工場出荷時と同じ状態に戻ります。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
